

道の駅価値創造セミナー

～プランディング手法による道の駅の活性化～

国土交通省により「道の駅」登録制度が創設されて12年が経過し、全国に800を越える道の駅が設置されています。道の駅は、ドライバーの休憩のほか、地域との交流を目指して地域の農産物や水産物または特産品の販売だけでなく、交流イベントの開催、地域観光情報の提供などを通じて、今や地域の顔となり、地域活性化の拠点となっています。

しかし、道の駅は市町村の第三セクター等により個別に運営されているため、各施設のサービス内容に格差が生じ、赤字経営で自治体財政を圧迫しているところもあります。

そこで、サービス内容の水準を向上し、地域活性化効果を高めるために、道の駅の活性化に民間のマーケティング手法を取り入れる必要があると考えて、道の駅のプランディング手法による活性化を提案します。伊藤忠商事と日本総合研究所は、プランディング手法による「道の駅」の活性化の基本スキームを策定して、平成16年度下期に岐阜県で社会実験を実施し、その有効性を検証しました。

本セミナーは、「道の駅」の活性化のためのプランディング手法を提案するものです。国土交通省の岩井國臣副大臣による基調講演をはじめとして、それぞれ特徴が異なる3つの地域で「道の駅」の活性化に当たっている方々による先進事例発表、そして伊藤忠商事と日本総研による道の駅プランディング手法の手法と実践報告を行います。

本セミナーにより、道の駅がさらに発展していくことを期待いたします。

会場

<日時> 平成17年10月31日(月)

12:30 ~ 受付開始

13:00 ~ 17:00 セミナー

17:00 ~ 18:00 交流会

<場所> 全国情報サービス産業厚生年金基金（JJK）会館

2階 多目的ホール（受講申込書の地図参照）

東京都中央区築地4-1-14

地下鉄：東銀座駅 6番出口 徒歩3分

築地市場駅 A3出口 徒歩3分

受講料

無料（但し、定員に達した場合は、先着順とさせていただきます。）

セミナーのねらい

道の駅の活性化の方向性を、「道の駅単独から周辺地域を含めた面としての魅力の向上」、「立ち寄り型施設から目的滞在型施設への展開」、「利用者とのコミュニケーションの向上」の3点からとらえ、この方向性を実現するために、「地域交流の促進」「商品力の強化」「顧客コミュニケーションの向上」の事業に取り組む必要があると考えます。

そこで、プランディング手法を活用して、「地域交流の促進」「商品力の強化」「顧客コミュニケーションの向上」の3事業について、推進組織の設立と運営、ブランドリサーチ、ブランド構築、事業実施と事業評価の4ステップで取り組むプログラムと実践例をご紹介します。

またセミナー終了後、会場にて簡単な交流会を企画し、参加者の皆様の交流を促進する機会を設けます。

プログラム

13:00 開会

13:00~13:30

(1) 基調講演：「これからの道の駅」（仮題）

国土交通副大臣 岩井 國臣

13:30~14:50

(2) 先進事例発表

・道の駅とみうら（千葉県富浦町）

駅長 篠原 茂幸

・道の駅遠野 風の丘（岩手県遠野市）

支配人 吉田 喜市

・道の駅土岐美濃焼街道（岐阜県土岐市）

駅長 丹羽 正孝

14:50~15:00 休憩

15:00~17:00

(3) 「プランディング手法による道の駅活性化」社会実験の発表

「道の駅のプランディングの必要性」

伊藤忠商事株 未知俱楽部室長 賦勺 尚樹

「プランディング手法を活用した道の駅の価値向上」

（株）日本総合研究所 上席主任研究員 金子 和夫

17:00 閉会

17:00~18:00 交流会（同一会場で参加者同志の交流を図る簡単な立食会を開催。会費1,000円）

講師のプロフィール

岩井 國臣（国土交通副大臣、参議院議員）

昭和13年京都府生まれ。昭和37年建設省に入省、中国地方建設局長、河川局長を経て、平成7年より参議院議員、平成16年9月より国土交通副大臣。「築土構木」「共生、コミュニケーション、連携」を唱え「人と心と自然」に根ざした地域づくりを提唱。中国地方建設局長時代に、道の駅制度創設に関わり、地域活性化の核としての道の駅の大切さを説く。

篠原 茂幸（富浦町役場 枇杷俱楽部課課長 道の駅とみうら駅長）

昭和26年千葉県生まれ。昭和49年千葉県入庁、農業の試験研究機関で29年間働いた後、平成8年富浦町へ移籍、加工農業の振興に携わる。平成15年6月より道の駅とみうら駅長となる。特産品である枇杷を活用したオリジナル商品開発で、いちはやく道の駅のブランド化を図るとともに、花摘み体験、大房岬など周辺地域の魅力をめぐるツアーに力を入れている。

吉田 喜市（社団法人遠野ふるさと公社 風の丘支配人）

昭和22年岩手県生まれ。昭和40年より遠野地方農業協同組合に勤務、園芸や加工事業などの営農指導に従事した後、平成10年遠野ふるさと公社が運営する道の駅風の丘の支配人となる。農産物や加工品など地域の特産品を積極的に取り上げるとともに、周辺地域の魅力を積極的に発信して、道の駅から市内に利用者を回遊させる取り組みに力を入れている。

丹羽 正孝（道の駅土岐美濃焼街道 駅長 とき窯元共販協同組合 専務理事）

昭和25年岐阜県生まれ。家電関係の営業を経て、窯業へ転じ、とき窯元共販協同組合専務理事として、美濃焼の普及促進に関わる。平成9年道の駅設立とともに駅長となり、地域に愛され、人とのふれあいの場づくりを心がけるとともに、平成15年に広域連携の必要性を説き、東濃道の駅連合会（9駅）をまとめて会長となる。

賦勺 尚樹（伊藤忠商事株式会社 自動車部門 未知俱楽部室長）

昭和35年東京都生まれ。昭和59年伊藤忠商事に入社。自動車部門で海外向け自動車輸出業務に従事、フランス、アルジェリアに駐在、平成15年より国内にて自動車関連の新市場創出に携わり、「道の駅」のブランド力を高め、地域経済の活性化とアクティビティアマーケットの創出を目指す。キーワードは「モノではなくココロ」。

金子 和夫（株式会社日本総合研究所 研究事業本部 上席主任研究員）

昭和27年愛知県生まれ。昭和51年からファッショナビジネスに従事、昭和63年日本総合研究所に入社。マーケティングの手法から、まちづくり、地域振興に取り組む。地域資源を活用し、住民参加で、地域のブランド化を図る手法により、全国の地域活性化を支援する。

お申し込みにあたって

なお、受講票等は発行致しません。参加申込書兼受講票を当日受付にお持ちください。

問い合わせ先

株式会社日本総合研究所 研究事業本部 東京都千代田区一番町16番
: 03 - 3288 - 4106 内容照会: 金子 和夫、斎藤 創
申込照会: 藤野 宣子



平成17年10月31日(月)13時~17時

全国情報サービス産業厚生年金基金(JJK)会館
2階 多目的ホール

東京都中央区築地4-1-14

(03)3546-5151

地下鉄:

《浅草線・日比谷線》東銀座駅 6番出口 徒歩3分
《大江戸線》築地市場駅 A3出口 徒歩3分